

研究課題「胸部単純X線画像による 被写体同一性検出の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年1月1日～2013年12月31日に当院で胸部単純X線画像を撮影された成人の方

2. 研究目的・方法

本研究は名古屋大学大学院医学系研究科生命倫理審査委員会の承認を受けて行われます。

胸部単純X線画像(いわゆる胸部レントゲン写真)は簡便に呼吸器・循環器疾患を診断できる画像検査法であり、全世界で最も多く行われている放射線画像検査とされています。名古屋大学医学部附属病院においても1日あたり200件以上(年間5万件以上)の撮影が行われていますが、これだけ検査件数が多いと撮影時に患者様の取り違えを生じてしまう危険性があります。現在、名古屋大学医学部附属病院では撮影時に患者様に姓名・生年月日を名乗っていただいで確実に本人確認を行うように努めておりますが、それでもヒューマンエラーによって取り違えを生じてしまう可能性を否定できません。近年、指紋認証や掌の静脈認証など様々な人間の身体的特徴をコンピュータで解析して本人確認を行う生体認証システムが発達しています。そこで撮影直後の胸部単純X線画像をコンピュータ解析して過去に当院で撮影された画像と照合することで同一患者様の画像であるかどうかを瞬時に確認するシステムを開発することがこの研究の目的です。

2006年1月から2013年12月の間に名古屋大学医学部附属病院において撮影された胸部単純X線画像(8年間でおおよそ40万画像)の中から500名の患者様の1500画像をランダムに選んで解析に使用いたします。集められた胸部単純X線画像をコンピュータで画像解析し、同一患者様の画像かどうかを判定するコンピュータソフトウェアを開発いたします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別 等

試料：胸部単純X線画像

4. 外部への試料・情報の提供

選ばれた胸部単純X線画像は当施設において個人が特定できないように患者様の氏名・病院IDを匿名化してうえでパスワードロックのついた記憶媒体(ハードディスクもしくはSSD)に保存し、コンピュータ画像解析を専門とする共同研究機関(富士フイルム画像技術センター)に郵便書留によって共同研究機関に送付します。そして共同研究機関において画像解析およびコンピュータ支援診断ソフトウェアの開発を行います。対応表は研究責任者が鍵のかかるロッカーにおいて保管・管理します。

5. 研究組織

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科量子医学 長縄 慎二

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科量子医学 岩野 信吾

共同研究者：富士フイルムメディカル ITソリューション事業本部 五十嵐 昭人

共同研究者：富士フイルム株式会社 画像技術センター 李 元中

共同研究者：富士フイルム株式会社 画像技術センター 中村 佳児

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 量子医学 岩野 信吾

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL 052-744-2327, FAX 052-744-2335

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科量子医学 長縄 慎二

研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科量子医学 長縄 慎二